※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国際文化

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
国際文化	Super English I	1	1	自主教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り）・話すこと（発表）・書くこと」の５領域の飛躍的な向上を図り、高度で実践的な使える英語力を身につけるため、英語能力テストである TOEFL を教材として扱います。まとまった分量の英文を扱い、トピックセンテンスを押さえ、論理の展開・大意を把握するパラグラフリーディングのトレーニングを行う。同時に口頭で質問に回答させるなどアウトプットのトレーニングも行う。また、リスニングも毎時間行い、体で自然に反応できるようにする。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・比較的聞き取りやすい身近な話題や自分が関心を持つ社会性のある話題について、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 ・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについて、会話をすることができる。	・300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・スピーチ、説明、物語などを、聞き手に伝わるように音読することができる。 ・やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡単な語や表現を使って、話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。 ・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、簡単な語や表現を使って伝えることができる。 ・与えられた話題について、簡単な語や表現を使って、即興で話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡単な語や表現を使って、発表することができる。 ・発表の際には、簡単なジェスチャーや声の強弱をつけるなどの工夫をして、内容を伝えることができる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を、簡単な語や表現を用いて他者に伝えることができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、つなぎの語やフレーズを活用して、簡単な語や表現を使って、１パラグラフの形式で、まとまりのある文章を書くことができる。 ・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、つなぎの語やフレーズを活用して、簡単な語や表現を使って書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	1課～4課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（やり取り）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	中間考査			
	5課～8課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（発表）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	期末考査			
2	9課～12課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題

※令和４年度以降入学生用

		話すこと（やり取り）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	中間考査			
	13 課～16 課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（発表）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	期末考査			
3	17 課～20 課	聞くこと	a: 音声・語いなど理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の面接テスト（NET による）、
		読むこと	a: 語彙、表現など理解を深める b: 情報や考えの概要を的確に活用できる c: 書き手に配慮し、背景にある文化に対する理解を図ろうとする。	面接テスト、課題
		話すこと（発表）	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 聞き手・話し手に配慮し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする	個別の課題発表
		書くこと	a: 語彙、表現、文法、言語の知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる b: 日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりできる c: 読み手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	課題・レポート（要約、下調べ、等）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度